

稲発酵用粗飼料用稲を軸とした耕畜連携

(埼玉県：美里町飼料用イネ協議会・美里飼料用イネ利用会)

取組項目

| 飼養管理 | 良質堆肥の生産 | 堆肥の広域流通 | 国産飼料生産・利用 | 有機畜産 | その他(※) |
|------|---------|---------|-----------|------|--------|
| | | ○ | ○ | | |

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- ・所在地 : 埼玉県児玉郡美里町
- ・代表者 : 美里町飼料用イネ協議会 会長 上山勇
美里飼料用イネ利用会 会長 町田延夫
- ・耕種農家15戸、畜産農家16戸(町外13戸)
- ・稲発酵用粗飼料用稲作付面積 : 36.6ha(令和3年度実績)



汎用型微細断飼料収穫機

<取組について>

○ 概要

- ・ 町内耕種農家で組織する美里町飼料用イネ協議会（以下「協議会」）と町内外の畜産農家で組織する美里飼料用イネ利用会（以下「利用会」）は、平成14年から連携して、地域に密着した資源循環型の農業経営を推進。
- ・ 稲の栽培は協議会の構成員各自で行い、収穫調製を協議会で実施。需要に応じた稲WCSの良品生産に努めており、収穫前には協議会と利用会の両組織で、ほ場の見回り・ランク判定等を実施。また、稲WCSを利用している畜産農家で発生した堆肥を、耕種農家共同の堆肥盤に集積し、堆肥散布を実施。
- ・ 堆肥施用による地力の向上により、稲WCSだけでなく、後作の小麦の増収・品質も向上。また、連携を深めることで稲わらなどの農場副産物の利用供給等も開始。構成員には若手農家もあり、担い手の育成にも尽力。

